

波紋

1993 8 第98号

『アメリカ研修旅行』

六月四〜十三日まで、稲葉部長、鳥羽君、加藤の三名でアメリカ研修に行かせて頂きました。行く前、いろいろ想像していったんですが、そんなことをふっ飛ばしてくれるようなパワーと歴史を持つていた国、アメリカ。我雑で個人主義と言われがちだが、それはあくまで、やることはやり、マナーを守った上でのこと。日本よりもずっとマナーがいいし、やさしく明るい。

それは広大な土地のせい？育った環境のせい？とにかく毎日が感動、驚き、そしていろんな事を勉強させてもらった十日間でした。百聞は一見にしかず、という言葉がこんなにあってはまったことはあり、



た。ませんでし

達、そして、アメリカでご案内して頂いたアキレスさんの東園氏、桑島氏、皆様の温かい協力によって、今回の研修がとても素晴らしく、有意義なものになったと思います。本当にありがとうございます。この研修を仕事にどんどん取り込んで行こうと思います。そして、またいつか、アメリカの“友人”に会いに行こうと思います。ありがとうございます。

加藤 雅 昭

この研修を終えて、自分はいろいろな人々に支えられているといふことが本当によくわかりました。それは社長であり、すべての段取りをつけて頂いた常務であり、会社の人

● 交差点

「P・D・C・A」

ミンボーで失業した暴力団の組長が、お寺の住職になる時代です。お寺さんは、税金があまり課税されない商売と、彼らの目に映ったようですね。

宗教界には、ひっくるめて一千万票といわれる大票田があると聞きます。国会議員の先生方も、創価学会や立正佼成会、霊友会、救世教やらに、いやがられる法律を作るわけにはいかないのだ。選挙の時だけ利用する事は出来ず、色々、義理と人情が絡み合っている様子。我々、中小企業も一つにまとまれば、凄いやわになるはずなのに…。

まとまっていけないから、どこからもアテにされないみたいで残念な事です。

我々、モーリンググループの皆さんは、「森松マン精神」と

「整理・整頓」
P・D・C・A

報・連・相

を理解し、皆さんの気持ちを一つにして突き進んで行きたいと思っています。

プラン (P)・計画 D・実行 C・検討 A・行動

森 信之

トシ君の一方通行

「座禅」

ある会合で、生まれて初めて座禅を組みに行きました。名古屋の東区に、あの様な立派なお寺があるとは思いませんでした。正式にはあぐらでなく、きちんとした作法の座り方があります。体が固くて殆どの人がいわゆるあぐらです。背中を、いわゆる背筋をピシッと伸ばし、計一時間でありすが途中休憩があります。殆どの人が初めての経験ですから足がしびれます。背筋を常に伸ばしておられますから、大変辛いのです。最後の方になりますと、それでも結構苦痛が少なくなりますから不思議です。お願いしますと肩をピシッと打って頂きます。これが何とも心地良い訳です。結論は「無」の境地には程遠く、日頃の不摂生で「形」がとれません。要するに、心が安定していなく、そして体が固い。つまり、不摂生という事がよく分かりました。修行が足りないのではなく、全く修行をしていないという事でありました。

木村 英利



森松クインテット

「バイクで散歩」

六月の最終土曜日、床に就く前にペランダにてタバコを吸いながら空を見上げる。

星空だ…

明日は晴れる。だが、チビと遊ぶ約束がある。早朝なら問題なし。目覚し時計を四時にセツトし床に就く…。

時計が鳴る。外はまだ薄暗い。行くぞと自分に気合いを入れる。

駐車場へ行く。駐車場の横は民家である。エンジン始動には、音を考えると気がひける。バイクを押して約六〇メートル、少し汗、目もパッチリ、エンジン始動、やはり音が気になり周りキョロキョロ気がひける。

タバコ吸い終え、いざ出発！

行き先不明、東へ向かう。太陽さんに向かって走るのみ。早朝の市内は車ゼロ、人もゼロ、信号だけがやけに気になる。なんだか最高な気分、思わずアクセルが回る。スピード注意と自分に言いかけせる。ほど良い寒さの中、散歩する。

愛知県の県境まで行きガソリン不足。ガソリンスタンドもまだ寝ている。なんとかなるさとバイクをお願い。

帰宅。まだ七時、問題なし。

あゝあ、気持ち良かった。

おやすみなさい…

光田 昭男

喜怒哀楽

「選挙へ行こう」

あと何日か後に選挙があります。自民党は政治改革が出来ず、身内に裏切られ、新生党、日本新党、さきがけなど新しい風が吹いて来ているとか。どのチャンネルをひねっても、選挙のニュースばかりです。どの政党も足の引っぱり合いばかりが目につきます。

私自身も、以前政治には、あまり感心がなく、自分一人が一票ぐらい入れても政治が変わるわけでもないで、面倒くさいと思って投票にも行きませんでした。でも最近では、金丸、竹下など政治の中心にいた人達の金にまみれた政治ではなく、個人の利益に走るような所が現実に見えて来るようになって、よくニュースなどを見るようになりました。

もちろん、悪いのは政治家かもしれませんが、選んだのは結局国民一人一人であり、自分自身でもあるのではないのでしょうか。

投票に行かない人が、政治が悪いとか自民党が社会党がと言っても、そんな事を言う資格があるのかなあと最近思うようになりました。20才を過ぎれば投票できる権利があるのに、それを放棄しているのと同じではないでしょうか。選挙に行きましょう。私も夫婦で投票に行きます。

この原稿を皆さんが読まれる頃には、結果が出ているでしょう。楽しみですね。

政治は変わるでしょうか？変わる事を期待します。

吉岡 孝記

平成5年 8月の社内行事

2日(月) 素麺会 十七時

3日(火) 編集会議 十七時四十分

若手サークル会 十八時

大里さん誕生日

誕生会 十二時

KーI 十八時

5日(木) テニス(丹後公園)十七時半

6日(金) 野球・対才力モト様 (丹後球場) 十八時

7日(土) 第一土曜日休み

8日(日) 中嶋さん誕生日

10日(火) KーII 十八時

松本さん誕生日

11日(水) 夏期休暇

14日(土) 福重さん誕生日

18日(水) 改善委員会 十八時

19日(木) テニス(丹後公園)十七時半

21日(土) 第三土曜日休み

後藤さん誕生日

25日(水) 経営会議 十五時

営業会議 十八時

26日(木) テニス(丹後公園)十七時半

特別寄稿

共産主義と自由経済



黒川ビニール有限会社

土田 晃 司

毎度お世話になり有難うございます。いつもの事ながら、モーリンマンの「元氣・やる氣」には、感心致しております。

今回「波紋」に書くと岩間課長さんに言われて困り、恥を書きます。

当社、社員中国研修旅行が六月末にあり、上海、蘇州、無錫と回り、感じた事を書かせて頂きます。

中国は、約十五年前、名古屋市と南京市の姉妹都市提携の時、訪問。(今回で五回目)

当時は、市内も暗く活気も無かったと記憶しております。観光客には国が指導の日中友好の感じを受けました。百貨店も国営、おしゃべりで店員の応対も悪く、買物も日本語は通じず、なかなか捗らずに困ったものでした。

今回は、レストラン、ホテル、土産物売り場等、日本語、日本円OK。

(一元は約二十円、上海のサラリーマンの月給平均二百五十元、日本円で五千円位)

日本語の良く通じるのには驚きました。聞くと「週二回のNHKラジオで」と言われた時は全員びっくり、やる氣があれば出来ると思感致しました。

五年前から解放経済が進み個人営業が認められ、又、二年前から請負制度が進み以前はタクシーに乗るには、ホテルの前か大きなレストランでしたが今では夜中でも街で拾う事が出来、様変わりになりました。

インフレも進みましたが、出来高で毎月ボーナスも出るので、生活も楽になった。以前の全員公務員時代とは違いを感じます。中国の経済発展の早さに感心し、広大な国土、人口の多さ、中国人の商売のうまさ、やる氣に恐怖を感じます。

私も軽包装用フィルム(ビニール、ポリエチレン)も上海で製造出来るとの事です。印刷技術も進み、多色刷りのお土産用袋、強化ポリもぼちぼち市場に出てきていました。

今現在は、繊維包装用袋(ビニロン、ビニール)は、日本より送っています。近々中国製の袋に入った衣類が日本に輸入される日も近いと思います。当社も中国製品にコスト、技術面で負けないよう「やる氣」で頑張ります。今後とも指導をお願い致します。

編集後記

今年バラついた雨が続き、グズついた暑さが続きそうです。雨降りの休日が続いた為、読みつばなしの本を急に読み出すようになりました。何かキツカゲがないとなかなか本や新聞を手にしないうので、20歳を境に日頃の習慣として身につけたいです。皆さんも御存知の方が多いと思いますが、ナポレオン・ヒル著作の成功哲学を読み、今は『巨富を築く13の条件』を読んでいます。この本は知人から社会人として進められ、限定版でありましたが街の方へと本を買いに求めました。初めは内容が難しすぎてイヤになったのですが、読みやすそうな頁から読みましたら理解しやすく、少し知識が身につきました。

加藤 公 江

編集発行者
森松株式会社

発行責任者

高橋 武 夫

平成5年8月1日
第98号